

2024年2月3日実施

1	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8	問 9	問 10	問 11	問 12
	エ	ア	ウ	エ	エ	ア	ウ	ウ	エ	イ	イ	エ
	問 13											
	1	2	3	4								
	F	F	T	T								
2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	エ	ウ	エ	エ	イ	エ	ウ	ア	ウ	ア		
3	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	エ	イ	ア	エ	ウ	エ	ア	ウ	イ	ア		
4	1	2	3	4	5	6	7	8				
	ア	イ	エ	ウ	ウ	ウ	ア	イ				
5	問 1	問 2	問 3	問 4	6	(1)	(2)	(3)	(4)			
	ア	イ	ア	エ		エ	エ	ア	エ			
7	(1) しかしながら、この新しい技術は、1 兆個の単語をほんの数秒で解析することができ一方で、それは人間の子どもでも正確に答えられるであろう問いにみづくこともある。											
	(2) 膨大な量の情報を分析し、まとめる能力があるにもかかわらず、人工知能は明らかに、その現実世界における経験と基本的常識の欠落を埋め合わせることが未だにできていないのだ。											
8	(1) Freshwater fish are easy to catch and have a high nutritional value, but they can pose a risk of parasitic or bacterial infections if not heated well. (別解) Freshwater fish are easy to catch and nutritious but accompanied by the risk of parasites or bacterial infections unless well cooked.											
	(2) Changes in the diet of early humans led to the shrinking of the intestine and the growth of the brain with it, which is thought to have been an evolutionary turning point. (別解) Changes in food life of early humans resulted in shortened intestines and ensuing brain growth, which is thought to have caused an evolutionary turning point.											

1

問1 「第1段落によれば、_____」

- ア 「娯楽のための魚類観察は17世紀に始まった」
- イ 「家庭で海洋生物を観察する文化はヨーロッパで始まった」
- ウ 「最初の観賞魚はガラスのつぼに入れられた」
- エ 「イギリスでは1800年代に水族館への関心が高まった」

正解はエ。第1段落最終文が根拠となる。その1文の意味は「19世紀半ば、一連の文化的、科学的、社会的状況が収束し、イギリスで水族館への熱狂が生じた」である。

問2 「第2段落によれば、_____」

- ア 「船乗りたちは、水面下にどんなものが住んでいるのかと恐れていた」
- イ 「古代ギリシャの人々は、ポセイドンが自分たちを守ってくれると信じていた」
- ウ 「1800年代の作家たちは、海を安全な場所として描写した」
- エ 「天文学者たちは、海上での嵐について予測した娯楽のための魚類観察は17世紀に始まった」

正解はア。第2段落第1文と第4文が根拠となる。それらの意味は「1800年代の産業革命以前、西洋では長い間、海は怪物が潜む恐ろしい場所と見なされてきた」及び「それから1000年経った後、中世においても、船乗りやその他の人々は民間伝承の影響を受けて、海を恐れ続けた」である。

問3 「第2段落の[1]に置き換えるのに最もよいのは次のうちのどれか」

- ア 「その上、さらに」
- イ 「明らかに」
- ウ 「やがては、ゆくゆくは」
- エ 「典型的に」

正解はウ。空所を含む1文の意味は「しかし、やがて科学的考えの持ち主たちは、海洋生物の体系的な収集と記録を通じて、海の謎を解明しようと努めた」である。第2段落では、冒頭からヨーロッパの人々が抱いていた海への恐怖、海を得体のしれないものと感じる心性が説明されており、その説明は第2段落第4文まで続いている。同段落第5、6文では、そのことが理由で海洋研究が天文学と比べて遅れを取っていたことが述べられている。その方向とは反する内容が同段落最終文で確認できるが、その前後をつなぐのにふさわしい副詞としては、時間の経過を表すウが正しいと予想できる。

問4 「第3段落によれば、19世紀における科学上の進展に関して正しくないのはどの文か」

- ア 「科学技術は海洋生物の一般展示を可能するのに役立った」
- イ 「水族館の建設に使用する板ガラスを購入するのが簡単になった」
- ウ 「鉄道の改善は海水の輸送に役立った」
- エ 「水族館の水は淡水源から集められた」

正解はエ。アについては第3段落第1文、イについては同段落第3文、ウについては同段落第2文を根拠として、それぞれ正しい内容であることが確認できる。それらの意味は「19世紀にはさまざまな技術革新が相まって、この研究の舞台が整えられ、水生植物や水生生物をその国の各地で展示することが可能になった。ひとつには、敷設されつつあった広大な鉄道網が、温度管理された海水を海岸からイギリス各地の都市へ輸送することを容易にした。またひとつには、ガラス製造の進歩により、より透明度の高い板ガラスが工業規模で生産されるようになり、以前より安価で入手しやすくなった」である。エの内容は本文には見当たらない。

問5 「第4段落で、下線部(A) truncated に最も意味が近いのは_____である」

- ア 「～を知らせた」
- イ 「～を促進した」
- ウ 「～を登録した」
- エ 「～を短くした」

正解はエ。下線部を含む 1 文のおよその意味は「フィッシュ・ハウスは当初、aquatic vivarium と説明されていたが、1854 年にゴッセはこの言葉をへて、aquarium という用語を作り出した」である。aquatic vivarium から aquarium へと名称が変更されたことがわかるので、エが正しいと予想できる。

問 6 「第 4 段落の主な目的は_____ことである」

- ア 「初期の水族館とその意義を説明する」
- イ 「フィッシュ・ハウスを訪れた人々の熱意をわかりやすく説明する」
- ウ 「水族館の構想がどのようにイギリスからヨーロッパに広まったかを説明する」
- エ 「海洋動植物を水槽の中でどのように生きた状態で維持されていたかを説明する」

正解はア。イで述べられた来客者の熱意については、本文に見当たらない。ウで述べられた水族館の広がりそのものは第 4 段落最終文に確認できるが、それが第 4 段落の主な目的とは言えない。エで述べられた水槽の中で飼育、管理する上での工夫については、同段落第 5 文に確認できるが、これも主な目的とは判断できない。第 4 段落全体を俯瞰してみるならば、1853 年にゴッセによって作られたフィッシュ・ハウスという水族館について、その始まり、名称、意義、工夫、影響などが述べられていることが確認できる。

問 7 「第 4 段落によれば、フィッシュ・ハウスは_____」

- ア 「開館当時は“aquarium”と表現された」
- イ 「水槽で 358 種類の魚を展示していた」
- ウ 「海洋生物に関して人々を教育する方法となった」
- エ 「来館者に海で泳ぐ機会を与えた初期の水族館とその意義を説明する」

正解はウ。第 4 段落第 4 文が根拠となる。その 1 文の意味は「この建物は、一般大衆を啓蒙する手段となることを意図して作られた」であり、人々はそれを利用することで、水生生物を体験するのに海の中に入らなくても、それについて学ぶことができた」である。

問 8 「第 5 段落の主旨を最もよくまとめているのはどの文か」

- ア 「ゴッセとリーは海洋生物の標本を収集した」
- イ 「輸入された外国産の水生生物種が一般の人々に向けて販売された」
- ウ 「水族館は海洋生物研究の急激な高まりに貢献した」
- エ 「水族館開発をベースにして本が書かれた」

正解はウ。第 5 段落第 1 文が同段落の主旨を最もよく表しているだろう。その 1 文の意味は「19 世紀後半には、公共の水族館が科学的研究の拠点となった」である。海洋生物研究が発展するきっかけとなったことは、同段落最終 2 文でも確認できる。それらの意味は「水族館は、摂餌、繁殖、生存のメカニズムなど、海洋生物の行動全般を研究するための制御された環境となった。ゴッセとリーはともに、自分たちの観察結果を詳細に記した本を執筆し、養殖、水質、海洋保全の初期の試みなど、さらなる研究への道を開いた」である。

問 9 「第 5 段落で、下線部(B) far-flung corners に最も意味が近いのは_____である」

- ア 「近隣の海」
- イ 「馴染みのある地区」
- ウ 「水中の層」
- エ 「遠隔地域」

正解はエ。下線部を含む 1 文の、その前後のおよその意味は「…ゴッセとヘンリー・リーのような科学者と探検家によって導かれて、彼らは〜から様々な種類の海洋生物を収集し、輸入し…」となる。第 2 段落第 2 文から exotic species 「外来種」の需要が高まっていること、それから下線部の単語の中に far 「遠い」と corners 「地域」が含まれていることから、エが正しいと予想できる。

問 10 「第 6 段落によれば、19 世紀半ばの裕福な家庭は_____」

- ア 「イギリスに公共の水族館を建設することから利益を得ていた」
- イ 「水槽を手に入れており、それは階級の象徴として見なされていた」
- ウ 「大きくて日の光が当たる家を、海洋生物を飼育するために建てた」
- エ 「海洋生物と養殖に関する研究への資金援助を行った」

正解はイ。第 6 段落最終文が根拠となる。その 1 文の意味は「莫大な費用がかかることから、水槽を所有することは上流階級の家庭だけが楽しめる贅沢だった。水槽を所有することは地位と最新事情に通じていることを表したのだ」である。なお、選択肢エの aquatic culture は通常「水生文化」という意味だが、今回に関しては第 5 段落最終文の中の aquaculture 「養殖」を言い換えた表現だと思われる。

問 11 「最終段落によれば、公共の水族館は_____」

- ア 「イギリス中の交通機関の発達をもたらした」
- イ 「さらなる研究と娯楽の可能性を示していた」
- ウ 「来館者に、海は暗くて謎の多い場所だと教えた」
- エ 「1900 年頃から 1950 年にかけて増え続けた」

正解はイ。最終段落最終文が根拠となる。その 1 文の意味は「それらの人気は、人々が海中に広がる世界に対する恐怖と謎を克服するきっかけとなったのであり、将来において人々が楽しみながら科学と自然保護を発展させる機会となることをはっきり示していた」である。

問 12 「本文のタイトルとして最も適切なものはどれか」

- ア 「私たちはいかにして海洋への恐怖を克服したのか？」
- イ 「水族館建設における板ガラスの使用法」
- ウ 「養殖：地球規模でのその盛衰」
- エ 「海洋生物を一般の人々に近づける」

正解はエ。第 1 段落最終文では、本文全体のテーマとなる「19 世紀イギリスにおける水族館人気の高まり」について言及されており、最終段落最終文でも、「一般の人々のために作られた水族館が、かつて存在した海洋への恐怖心を乗り越え、将来的に海洋科学と海洋保全が発展するきっかけとなったこと」が述べられている。この内容を手短かにまとめたものがエである。アのタイトルに含まれる「海洋への恐怖」も第 2 段落及び、上述の最終段落最終文に含まれているため、判断に迷うところだが、仮にアがタイトルだとすれば、海洋への恐怖を克服する過程や、海洋への恐怖を乗り越えた現状が詳しく述べられていてよいはずだ、と予想できる。その視点で再度本文全体を俯瞰するならば、海洋への恐怖についての言及が上述の 2 段落のみに限定されており、本文の中心的内容とは言い難いことがわかるだろう。

問 13 「本文に従って、選択肢の文が正しければ“T”を、誤りならば“F”をマークしなさい」

- 1 「イギリスにおける海洋生物を飼育する習慣がアジアに広まったのは 19 世紀のことだった」
- 2 「ヨナは、クジラに食べられた中世の船乗りだった」
- 3 「ゴッセは、水槽内の魚が生き延びるのに十分な酸素を供給する方法の開発に貢献した」
- 4 「フィッシュ・ハウスの成功は、他の国々でも同様のプロジェクトを行うきっかけとなった」

1 は F。第 1 段落第 2 文に反する。その 1 文の意味は「17 世紀までに、東アジアの魚飼育文化はヨーロッパに到達し、そこで進化を続けた」である。伝播の方向が逆であり、時代も事実と反する。

2 は F。第 2 段落第 3 文に反する。その 1 文の意味は「聖書に記された紀元前 5 世紀の物語では、ヨナという男がクジラに食べられるという話が描かれている」である。ヨナは中世の船乗りではない。

3 は T。第 4 段落第 5 文が根拠となる。その 1 文の意味は「ゴッセは、水槽内の海洋生物が十分な量の酸素を吸収することができ、植物が生育できるだけの炭酸を供給できるようにする技術の開発に貢献した」である。

4 は T。第 4 段落最終文が根拠となる。その 1 文の意味は「フィッシュ・ハウスは人気の行楽目的地となり、その構想はヨーロッパや北米の他の都市にも広まった」である。

2

1. Please listen carefully; I don't want there **(to be)** any misunderstanding between us.
「注意して聴いてください。私たちの間に誤解が生じないようにしたいのです」
正解はエ。 <want there to be ~> 「～が存在してほしい」という表現。第 5 文型の動詞 want が there is any misunderstanding ~ という文を O C に組み込んだものである。
2. **(Should)** you come across a suspicious package, do not open it; instead, notify the police.
「万一不審な小包をみつけたら、開封しないで、警察に通報してください」
正解はウ。if 節の if を省略した場合、倒置が起こり助動詞の should が文頭に置かれる。
3. Linda insists that her father **(be)** present at tomorrow's meeting, no matter how busy he is.
「リンダは、父親がどんなに忙しくても明日の会議に出席するよう言い張った」
正解はエ。 <insist that S (should) do ~> 「S が～するよう主張する」という表現。insist の目的語である that 節内に should が必要であるが、should を省略すると動詞は原形不定詞となる。
4. Work is not the only object of life, **(any more)** than play is.
「仕事は、遊びと同様、人生の唯一の目的ではない」
正解はエ。 <A is not ~ any more than B> = <A is no more ~ than B> 「A は B 同様～でない、A が～でないのは B が～でないのと同じである」という表現。
5. Late **(as)** it was, the group of climbers set out for the summit.
「遅くなったが、その登山者たちは山頂を目指して出発した」
正解はイ。 <~ as S' V'> 「S'は～だけれども」という表現。
6. Last month, similar accidents occurred one after another in quick **(succession)**.
「先月、同じような事故が立て続けに起こった」
正解はエ。 <in succession> 「連続して」という表現。
7. Ms. Bolin gave her speech in French, **(which)** was impossible for some audience members to understand.
「ボリンさんはフランス語でスピーチをしたが、一部の聴衆にはそれが理解できなかった」
正解はウ。 “her speech in French” 「フランス語で行われたスピーチ」を先行詞とする関係代名詞の非制限用法である。
8. Nothing he talked about regarding theoretical models at the conference was **(of)** any interest to today's audience.
「その会議で理論モデルに関して彼が話したことは、今日の聴衆にとっては何の興味もないことだった」
正解はア。 <of interest> 「面白い」という表現。 <of + 抽象名詞> で形容詞の意味になる。
9. Although he had made a fortune in business, he couldn't help but **(worry)** about the future.
「彼は事業で財を成したが、将来を心配せずにはいられなかった」
正解はウ。 <cannot help but do ~> 「～せずにはいられない」という表現。
10. No **(sooner had he)** appeared at the end of the street than his dog ran to meet him.
「彼が通りの突き当りに現れるとすぐに、飼い犬が駆け寄ってきた」
正解はア。 <no sooner ~ than ...> 「～するとすぐに…」という表現。文頭に否定語 no sooner があるため倒置が起きている。

3

1. エ	<u>a preliminary</u>	「初めの, 準備の」	= an initial
2. イ	<u>speculation</u>	「憶測, 予測, 仮説」	= hypothesizing
3. ア	<u>temptation</u>	「誘惑, 衝動, 魅力」	= attractiveness
4. エ	<u>consequential</u>	「重大な, 当然の」	= significant
5. ウ	<u>friction</u>	「摩擦, 不和」	= conflict
6. エ	<u>drew attention to</u>	「～に目を向けさせた」	= highlighted
7. ア	<u>intuitively</u>	「直観的に」	= instinctively
8. ウ	<u>surrendered</u>	「降伏 (降参) した」	= yielded
9. イ	<u>innovation</u>	「革新, 発明」	= invention
10. ア	<u>ethical</u>	「倫理的な, 道徳的な」	= moral

4

1. 「その対話によれば, 小包に関して正しいのはどれか」

正解はア「小包にはもともと, 彼らが送るのを諦めた物品が含まれていた」。3 つ目の Don の発言第 3 文 “There are some credit cards and personal identification inside and almost \$100 in cash here!” および, 5 つ目の Postal worker の発言第 2 文 “Sorry, but we can’t send any personal identification, credit cards. or cash.” より, 2 人が送ろうとしていた小包の中の財布には, 身分証明書, クレジットカード, 現金が入っていたがそれらは送ることができない品目であったことがわかる。そして, 4 つ目の Denise の発言第 3 文 “We’ll take the wallet home and email him about it.” より, 2 人は財布を送らずに持ち帰ったことがわかる。

2. 「その対話によれば, ジャック・スミスに関して正しくないのは次のうちのどれか」

正解はイ「彼はドンとデニーズの雇い主であった」。3 つ目の Don の発言第 4 文に “Jack packed the box himself.” とあり, その小包の内容物の持ち主は Jack だとわかる。また 2 つ目の Don の発言第 1 文に “No, they belong to a former employee of ours.” とあり, 2 人が小包にして送ろうとしている書類が, 2 人の会社の以前の従業員のものであることがわかる。

3. 「デニーズが “racking his brain,” という場合, 恐らく彼女は_____と言おうとしている」

正解はエ「必死に考えている」。下線部を含む 3 つ目の Denise の発言 “He must be racking his brain to remember where he saw it last; I’d be in a panic if I were him!” のおよその意味は「彼は最後に財布を見た場所を思い出そうとして～に違いないわ。私ならパニックになるけど」である。記憶をよみがえらそうとして行うこと, かつ脳に関わることを選択肢の中から探すと, エの thinking hard 「必死に考える」が妥当だと推測できる。なお rack は「～を無理に働かせる」という意味。

4. 「その対話によれば, _____」

正解はウ「速達の場合一般に遅くて 5 営業日で届く」。7 つ目の Postal worker の発言第 2～4 文 “Standard shipping usually takes five to ten business days and is the most affordable option. We also offer expedited shipping. It costs more, but it gets there in half the time.” より, 郵送には通常配送と速達があり, 後者は前者の半分の時間で届く, つまり今回の場合は, 普通なら遅くとも 10 営業日の半分の日数で届くことがわかる。

5. 「その対話によれば, ミシェルはアントニオの_____を最も心配している」

正解はウ「安全」。3 つ目の Michelle の発言第 2 文 “I have so many concerns about that, mostly about your safety!” より, Michelle は Antonio の身の安全を最も心配していることがわかる。

6. 「その対話によれば、なぜアントニオはゴルフを始めたいと思わないのか」

正解はウ「彼にとって十分胸をわくわくさせるようなことではない」。4つ目の Antonio の発言第2文に“~ and Paul and Andy want me to golf with them there, but it doesn't interest me like flying does.”とある。つまり Antonio にとってゴルフは、飛行機を操縦することほど興味がわかないことがわかる。

7. 「その対話によれば、飛行機を所有するためにアントニオは_____を示唆している」

正解はア「銀行からお金を借りること」。6つ目の Antonio の発言第2文に“~ and we can take out a bank loan if we need to.”とある。つまり Antonio は必要なら銀行ローンを組むつもりがあることがわかる。

8. 「アントニオが“we'd have to tighten our belts.”と言う場合、恐らく彼は_____と言おうとしている」

正解はイ「節約する」。下線部を含む6つ目の Antonio の発言第1文“I know we'd have to tighten our belts, but I'm making more money now at my job.”のおよその意味は「~しなければならないことはわかっている。けれども今は仕事でもっと稼いでるよ」である。収入が多くなると節約しなくてもすむという関係に気がつけば、イの reduce spending 「節約する」が正解だと予想できる。ちなみに、<tighten one's belt> は、元々「ベルトを締める」という意味だが、ベルトを締めると空腹を紛らわせることができることから、「経費を切り詰める、節約する」という意味でも用いられる。

5

問1 ア

「ストア派の思想について」。冒頭に4が置かれて、「紀元前3世紀に起源を持つストア派は、内面の平穏と有意義な人生を送るに際して、理性と徳を重視する哲学の学派の一つである」と述べられる。続く選択肢としては、2と3の関係を考えるとよい。2の内容は「ストア派の人々は、万物の相互の結びつきと人が自然と調和して生きるよう努めるべきであるという考えも信じている」となるが、この2の後段で述べられている「自然との調和」をうけて、3の“This emphasis on nature”の語句があると考ええる。3の内容は「自然をこのように重視することは、外的な状況に駆り立てられるのではなくむしろ人の価値観や理想と調和して生きることの意味している」となり、これで2→3の接続が確保される。ストア派の人たちがどのようなことを提唱したのかの説明を行う1は、4の直後に置くとよい。その内容は、「ストア派の人たちが言うには、人は自分自身が制御できる範囲内にあるものに意識を向けるべきであり、自分が制御できないものは冷静に受け入れるべきである」である。よって、4→1→2→3が正解。

問2 イ

「宇宙の暗黒物質」について。冒頭に1が置かれて、暗黒物質の定義がなされている。その意味は「暗黒物質は、宇宙の物質の約85%を構成すると信じられている仮説上の物質である」となる。次に2の“Despite this”に注目する。2の意味は、「これにもかかわらず、それは、恒星や銀河といった目に見える物質にそれが及ぼす重力による影響に基づいて、存在すると推測される」である。このthisの内容を表すのが、暗黒物質が存在するとはっきり言えない事実の指摘であると考え、その事実を説明している3を確認する。3の内容は「通常物質と異なって、暗黒物質は光や他の電磁放射線と相互作用せず、そのせいで暗黒物質は望遠鏡やその他の器具では見えないのである」である。よって、3を2の前に置くとよい。その上で、暗黒物質の正体を突き止めようとしている科学者の説明が続くと考えればよいので、2の後に4を置く。4の内容は、「科学者は、いくつかの仮説を提起して、WIMPs(微弱な相互作用を行う重い粒子)やアクシオンを含めた、暗黒物質の性質を説明してきた」である。よって、1→3→2→4が正解。

問 3 ア

「親友の画家の遺作展をモチーフとしたムソルグスキーの音楽作品」について。冒頭に 3 が置かれて、「モデスト・ムソルグスキー (1839-1881) は、ひょっとするとピアノ組曲『展覧会の絵』でもっとも有名であるかもしれないロシア人の作曲家であった」と述べられている。続く選択肢は 2 か 1 となるが、2 の “this musical work” が、3 の “his piano suite *Pictures at an Exhibition*” を指していることと 1 の “the paintings” が 2 の “a different painting” をうけていると考ええると、3 → 2 の順になり、2 → 1 の順序になると考えられる。2 の意味は「この音楽作品は、1874 年に書かれて、10 の固有の主題からなっており、その一つ一つが異なった絵画を表している」となる。そして、1 の意味は「それらの絵画は、ムソルグスキーの親友の画家のヴィクトル・ハルトマンによって描かれた」である。よって、3 → 2 → 1 → 4 が正解。

問 4 エ

「カモノハシの生態」について。冒頭に 2 が置かれて「アヒルとビーバーとカワウソの交配種のような姿をしているため、カモノハシは確実に、独特な動物であるといわれる資格はある」と述べられている。続く選択肢が 1 と 4 となるが、“the platypus” を受けた it から始まる 4 を 2 の後に続けるとよい。4 の意味は「それはオーストラリアで発見された哺乳動物であるが、ほとんどの哺乳動物と違って、生きている子どもを産むのではなく、卵を産むのである」となる。さらに、1 の “this poisonous substance” が 3 の “venom” 「毒」の言い換えであると考ええると、3 → 1 の順になると考えられる。3 の意味は、「それは、自らを毒で防御することのできるめずらしい哺乳動物種の一つでもある」となり、1 の意味は「この有毒物質は、オスのみ出すことができるが、ヒトにとっては非常に痛みを伴うものの死に至るものではないと言われている」である。よって、2 → 4 → 3 → 1 が正解。

6

(1) エ 「最大の」

空所(1)を含む 1 文のおよその意味は「グラフは、Flash Food Store はこの期間の最初の 8 年間ではその町で～の数の店を持っていた」である。折れ線グラフから Flash Food Store 社の店舗数は最初の 8 年間では、コンビニチェーン全 4 社中一貫して最大であることがわかり、“the highest” を選択する。

(2) エ 「150 以上」

空所(2)を含む 1 文のおよその意味は、「2010 年から 2015 年まででそれが有する店舗の合計数に違いは～だった」である。文中の it は Flash Food Store 社を指すので、その折れ線グラフの推移を確認すると、2010 年の店舗数 100 に対して、2015 年の店舗数は 250 を超えているため、その差は 150 よりも大きいと考えられる。よって、“more than 150” を選択する。

(3) ア 「やめた」

空所(3)を含む 1 文のおよその意味は、「Holiday Foods に関しては、2016 年に会社が操業を～」である。Holiday Foods 社の店舗数を表す折れ線グラフを確認すると、2016 年に 0 になっているのがわかる。ここから、Holiday Foods 社はこの町から撤退したことがわかるため、「営業を停止した」との意味になる。よって、ceased を選択する。

(4) エ 「2018」

空所(4)を含む 1 文のおよその意味は、「この地域の最初の Mini Emporium が 2013 年に開店した後、Mini Emporium の店舗数は毎年増加し、～に Flash Food Stores の数を上回った」である。折れ線グラフから、Mini Emporium 社が Flash Food Store 社を上回ったのは 2018 年であることがわかる。

7

- (1) “However, while this new technology can comb through a trillion words in a matter of seconds, ~”

「しかしながら、この新しい技術は、1兆個の単語をほんの数秒で解析することができる一方で、～」
 comb through ~ 「～をもれなく調べ上げる、(データを)解析する」
 a trillion words 「1兆個の単語」
 in a matter of seconds 「ほんの数秒で」

“~, it sometimes stumbles over questions that could be answered correctly even by a human child.”

「～それは人間の子どもでも正確に答えられるであろう問いにつまずくこともある」
 stumble over ~ 「～につまずく、～し損なう」
 ~ could be answered 「～は答えられるであろう」

- (2) “For all its skills in analyzing and summarizing vast quantities of information, ~”

「膨大な量の情報を分析し、まとめる能力があるにもかかわらず～」
 for all ~ 「～にもかかわらず」 (despite と同義)
 skills in *doing* 「～する技術、スキル、能力」
 analyze 「～を分析する」
 summarize 「～をまとめる、要約する、手短に述べる」
 a vast quantities of information 「大量の、膨大な量の情報」

“~, it is clear that artificial intelligence has yet to compensate for its lack of real-world experience and basic common sense.”

「人工知能は明らかに、その現実世界における経験と基本的常識の欠落を埋め合わせることが未だにできていないのだ。」

it is clear that ~ 「～なのは明らかだ、明らかに～」
 have yet to ~ 「未だ～できない」
 compensate for ~ 「～を補う、埋め合わせる」
 real world 「現実世界、実世界」
 basic common sense 「基本的常識」

8

- (1) 「淡水魚」 freshwater fish (3行目, 4行目, 大問1問4など)
 「～しやすい」 be easy to *do* ~
 「～を釣る」 fish ~ / catch ~
 「栄養価が高い」 be nutritious / have (a) high nutritional value / have (a) nutritive value
 「よく火が通っている」 be heated well / be well cooked (1行目, 5行目, 7行目など)
 「～なれば」 if not ~ / unless ~
 「寄生虫感染」 parasitic infection / infection with parasites
 「細菌感染」 bacterial infection
 「～の危険を伴う」 have the risk of ~ / involve the risk of ~ / pose a risk of ~ / be accompanied by the risk of ~
- (2) 「初期人類」 early humans / early mankind
 「食生活の変化」 changes in the diet / changes in food life / changes in eating habits
 「腸の縮小」 shrinking of the intestine / shortened intestines / intestinal shrinkage
 「それに伴った～」 ~ with it / ensuing ~ / accompanied by ~
 「脳の成長」 growth of the brain / brain growth / development of the brain
 「～を引き起こす」 cause / lead to ~ / result in ~ / bring about ~ / give rise to ~

「脳の成長」	growth of the brain / brain growth / development of the brain
「進化の転機となる」	be an evolutionary turning point / cause an evolutionary turning point / be a turning point in (the) evolution / make a turning point in (the) evolution
「～したと考えられている」	be thought to have done

講評

- | | |
|--|---|
| <p>1 [長文内容一致] (標準)</p> <p>2 [文法四択] (やや易)</p> <p>3 [同義語選択] (標準)</p> <p>4 [会話] (やや易)</p> <p>5 [文整序] (標準)</p> <p>6 [図・グラフ] (易)</p> <p>7 [和訳] (標準)</p> <p>8 [英訳] (やや難)</p> | <p>「水族館の歴史」に関する英文。本文に根拠を見つけるタイプの問題は解きやすいが、要約的な設問は答えを選びにくい。</p> <p>典型的な出題内容で、しっかりと学習していれば得点しやすい。</p> <p>受験レベルを超えるような難しい単語はなく、正解を選びやすい。</p> <p>前半は「郵便局員と客との小包の郵送規定に関する会話」。後半は「飛行機の免許を取ると言い出した夫とその妻との会話」。各設問の選択肢は正誤の判断をつけやすいものが多い。</p> <p>指示語や代名詞を基準にして判断できる設問が多いが、英文内容は受験生にとってなじみのないものが多い。</p> <p>データを正確に読み取る力を試す問題だが、特に難しさはない。</p> <p>「新しい技術である AI に欠けているもの」に関する英文。一部難しい単語も含まれるが推測は容易で、全体としては構造通り素直に訳せる。</p> <p>「ヨルダン川付近で発見された魚の歯が世界最古の調理の証拠となること」に関する英文。体の部位や医学系単語に関する知識が必要である。</p> |
|--|---|

大問構成、問題量は例年並みで、大問 8 がやや難化したものの、取り組み易い大問が多い。目標は 75%

メルマガ無料登録で全教科配信！ 本解答速報の内容に関するお問合せは… メビオ ☎0120-146-156 まで

医学部進学予備校 **メビオ**
☎0120-146-156 <https://www.mebio.co.jp/>



医学部専門予備校
英進館メビオ 福岡校

☎ 03-3370-0410
<https://yms.ne.jp/>

☎ 0120-192-215
<https://www.mebio-eishinkan.com/>



登録はこちらから

後期入試もチャンスあり！最後まで諦めない受験生をメビオは応援します

医学部後期模試
2/16(金) 近畿大学医学部
2/19(月) 金沢医科大学
詳しくはこちら

**医学部後期入試
ガイダンス**
2/4(日) 14:00～14:30
大阪梅田ツインタワーズ・ノース
詳しくはこちら

詳しくは Web またはお電話で

医学部進学予備校 **メビオ** フリーダイヤル ☎0120-146-156

校舎にて個別説明会も随時開催しています。
【受付時間】 9:00～21:00 (土日祝可)

大阪府大阪市中央区石町 2-3-12 ベルヴォア天満橋
天満橋駅(京阪/大阪メトロ谷町線)より徒歩3分